



中間報告書

2008年4月1日～2008年9月30日



特種東海ホールディングス株式会社

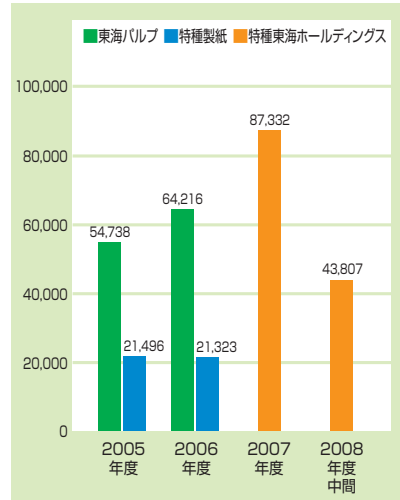
TOKUSHU TOKAI HOLDINGS CO.,LTD.



連結財務ハイライト

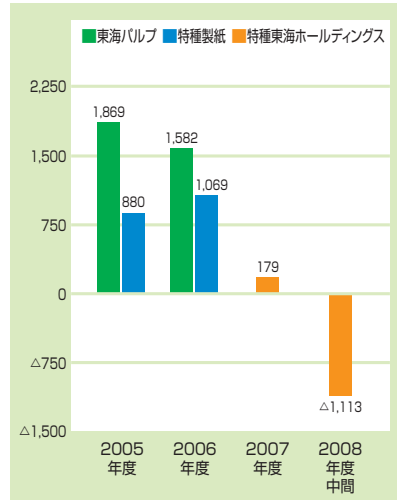
売上高

(単位：百万円)



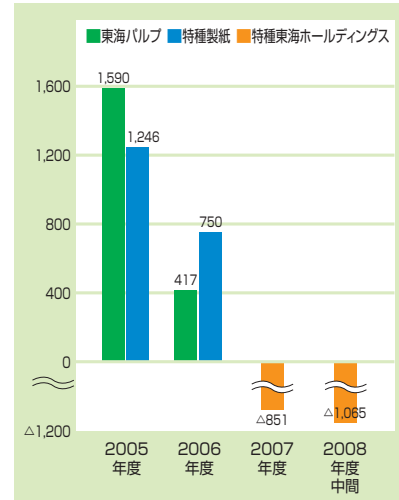
経常利益

(単位：百万円)



中間(当期)純利益

(単位：百万円)



(単位：百万円)

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度中間
売上高	東海パルプ	54,738	64,216	87,332	43,807 (95,000)
	特種製紙	21,496	21,323		
経常利益	東海パルプ	1,869	1,582	179	△1,113 (1,300)
	特種製紙	880	1,069		
中間(当期)純利益	東海パルプ	1,590	417	△851	△1,065 (1,000)
	特種製紙	1,246	750		
総資産	東海パルプ	84,445	90,078	136,311	138,350
	特種製紙	51,811	46,104		
純資産	東海パルプ	21,899	21,639	61,985	59,663
	特種製紙	42,521	39,706		
1株当たり中間 (当期)純利益 (円)	東海パルプ	23	6	△5.36	△6.54 (6.14)
	特種製紙	24	15		

() 内、通期業績予想

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは、今期からスタートした3ヵ年間の第一次中期経営計画において、①不採算事業を撤退し、得意分野へ経営資源を集中する。②新規事業・商品開発に注力し事業領域を拡大する。③新たな視点で「企業間連携」を構築する。④特殊紙事業の海外戦略を積極的に展開する。という4項目を基本方針として掲げ、3年後である2010年度に売上高1,000億円以上、経常利益40億円を目標としております。この中期経営計画の下、グループ一丸となって生産の集約や経営統合によるシナジー効果を活かした合理化諸施策、物流合理化などによるコストダウンの推進、販売価格の修正などに取り組んで参りました。

しかしながら、当中間期（第2四半期）での連結業績は、売上高43,807百万円と増収を確保できたものの、利益面では、重油、古紙、チップといった原燃料価格高騰によるコストアップの影響などにより、営業損失999百万円、経常損失1,113百万円、四半期純損失1,065百万円となりました。

このような業況により、中間配当につきましては、誠に遺憾ながら見送りとさせて頂きました。既に取り組んでおります諸施策の更なる推進を図って参りますので、業績改善に邁進する当社グループの真摯な取り組みをご理解のうえご了承頂きたくお願い申し上げます。

今後につきましても、米国を起点とした世界的な金融不安以降経済動向は不透明であり、依然として厳しい経営環境が続きますが、これらへの機敏な対応を含め、引き続き各種コスト削減の推進、販売価格の修正への取り組みを行うなどし、株主の皆様のご期待に応えるべく尽力して参る所存でございます。

当社グループに対しましては、ますますのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月



取締役社長 安本 昌司

当中間期における事業の概要および財務諸表

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国を起点とした世界的な金融不安や原油・原材料価格の高騰により企業収益が減少し、個人消費も低調に推移するなど、景気の減速感が強まりました。

このような状況の中、当社グループは、経営統合によるシナジー効果を活かした合理化諸施策、物流合理化などによるコストダウンの推進、販売価格の修正などに取り組んでまいりましたが、重油、古紙、チップといった原燃料価格の高騰が大きく影響し、厳しい経営環境が続いております。

産業用紙では、販売数量は、猛暑による飲料関連の旺盛な段ボール需要に支えられたこともあり、前年同期を上回りました。主要製品である段ボール原紙とクラフト紙の販売価格は、昨年度の修正により前年同期を上回りましたが、想定以上の原燃料価格高騰の影響を吸収しきれず、増収減益となりました。

特殊紙では、主力製品である印刷用紙は、7月からの価格改定により販売価格は前年同期を上回りましたが、景気後退による需要縮小の影響で販売数量は前年同期を下回り、減収となりました。

特殊機能紙につきましては、販売数量・価格ともに堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間での連結業績は、売上高は43,807百万円、利益面では、原燃料価格高騰によるコストアップの影響などにより、営業損失は999百万円、経常損失は1,113百万円、中間純損失は1,065百万円となりました。

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2008年9月30日現在)	前期末 (2008年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	40,772	40,650
固定資産	97,578	95,661
① 資産合計	138,350	136,311
(負債の部)		
流動負債	63,566	56,902
固定負債	15,120	17,424
② 負債合計	78,686	74,326
(純資産の部)		
株主資本	58,210	60,422
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	14,483	14,484
利益剰余金	32,361	34,570
自己株式	△120	△117
評価・換算差額等	1,268	1,420
その他有価証券評価差額金	1,371	1,425
繰延ヘッジ損益	△102	△5
新株予約権	41	—
少数株主持分	142	142
③ 純資産合計	59,663	61,985
負債純資産合計	138,350	136,311

Point

① 資産合計

期間末の総資産は、138,350百万円となり、前期末に比べて2,038百万円の増加となりました。主な要因は、中芯抄紙機などの有形固定資産の取得による増加であります。

② 負債合計

負債は、78,686百万円となり、前期末に比べて4,360百万円の増加となりました。主な要因は、借入金の増加によるものであります。

③ 純資産

純資産は59,663百万円となり、前期末に比べて2,321百万円の減少となりました。自己資本比率は43.0%となりました。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期(累計) (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	前中間期(累計) (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
④ 売上高	43,807	42,706
売上原価	37,974	35,618
売上総利益	5,833	7,088
販売費及び一般管理費	6,832	6,791
営業利益又は営業損失(△)	△999	297
営業外収益	403	279
営業外費用	516	502
経常利益又は経常損失(△)	△1,113	75
⑤ 特別利益	379	348
⑥ 特別損失	720	585
税金等調整前中間(当期)純損失(△)	△1,454	△161
法人税等合計	△391	223
少数株主利益	2	△3
中間(当期)純損失(△)	△1,065	381

Point

- ④ 売上高
セグメント別の売上高は、製紙事業が35,210百万円、加工事業が7,566百万円、環境事業が1,030百万円となりました。
- ⑤ 特別利益の主な内訳は、過年度匿名組合配当金223百万円です。
- ⑥ 特別損失の主な内訳は、発電設備の減損損失435百万円です。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期(累計) (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	前中間期(累計) (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,624	1,416
⑧ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,594	△4,673
⑨ 財務活動によるキャッシュ・フロー	3,117	3,066
現金及び現金同等物に係る換算差額(△は減少額)	0	△5
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	148	△197
現金及び現金同等物の期首残高	3,744	3,729
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,892	3,531

Point

- ⑦ 営業活動の結果得られた資金は1,624百万円となりました。主な要因は、税金等調整前中間純損失が1,454百万円であったものの、減価償却費3,845百万円、法人税等の還付額780百万円があったことなどによるものであります。
- ⑧ 投資活動の結果使用した資金は4,594百万円となりました。主な要因は、中芯抄紙機などの有形固定資産の取得5,039百万円です。
- ⑨ 財務活動の結果得られた資金は3,117百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加7,145百万円、長期借入金の減少2,878百万円です。

●東海パルプ(株)製紙工場のご紹介

東海パルプ(株)の製紙工場は、静岡県島田市に立地しており島田工場（向島町4379番地）と横井工場（横井4丁目18番1号）で構成されており、両工場とも、南アルプスの社有林内に源泉をもつ大井川（一級河川）およびJR東海道線の島田駅に隣接しております。島田工場では、ライナー（段ボールなど）とクラフト（米麦袋など）を主に生産しており、横井工場では、特殊紙と紙タオルを主に生産しております。



島田工場（面積462,185㎡）



横井工場（面積46,104㎡）

●特種製紙(株)三島工場 FSCのCoC認証取得

特種製紙(株)三島工場ではこのたび国際的な森林認証制度であるFSC※1のCoC※2認証を取得いたしました。これにより、三島工場においてFSC認証パルプを使用することで、クレジット方式※3によるFSC認証紙の製造および販売が可能になります。FSC認証パルプを使用するということは、FSCに認証された適切に管理された森林から得られたパルプを使用することであり、環境に配慮された原料を使用することになります。今後、FSC認証パルプを積極的に使用し、様々な分野でFSC認証紙の特殊紙を発売していくことで、森林の保全に貢献してまいりたいと考えております。

※1 FSC……Forest Stewardship Council；森林管理協議会

世界中全ての森林を対象とし、環境保全の点から見て適切で、社会的な利益にかなない、経済的にも継続可能な森林管理を推進することを目的としている森林認証制度の運営機関。信頼できるシステムで評価し、適切な管理がなされている森林を認証している。

※2 CoC……Chain of Custody；管理の連鎖

生産・加工・流通過程の経路が追跡でき、認証された森林から生産された木材が適切に管理されて加工・流通されていることを認証している。

※3 クレジット方式

FSC製品グループ単位で使用したFSC認証パルプをクレジットとして保有し、応じた数量分を認証製品としてラベリングできる方式。従って、個々のFSC認証紙には必ずしもFSC認証パルプが配合されているわけではありません。

●井川山林風倒木被害復旧事業

井川山林では昨年9月の台風で、上千枚沢付近の植林地を中心に約20ヘクタールの風倒木被害が発生し、豊かな森林の風景が一変してしまいました。

急傾斜の被害地は、表層崩壊など二次災害が発生しやすい状態となっていることから、当社では早期の復旧が必要と判断し、今年度から4か年計画で復旧事業に着手しました。

事業では、折り重なり倒れている風倒木を搬出し跡地に郷土樹種のカラマツを植栽するほか、搬出した木材は製紙用チップに加工し東海パルプで原料として有効利用する計画です。



復旧作業の様子

会社概要 (2008年9月30日現在)

名称	特種東海ホールディングス株式会社 Tokushu Tokai Holdings Co., Ltd.
事業内容	傘下子会社及びグループの経営 管理並びにそれに附帯する業務
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番1号
資本金	1,148,520万円
事業年度	4月1日から翌年の3月31日
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 (コード: 3708)
本店所在地	静岡県島田市向島町4379番地
設立年月日	平成19年4月2日

役員 (2008年9月30日現在)

代表取締役社長	安本 昌司
代表取締役副社長	三澤 清利
取締役	河合 晃一
取締役	高野 啓士
取締役	池谷 修
取締役	石橋 達彦
取締役 (社外取締役)	石川 達紘
取締役	伊藤 齊
常勤監査役 (社外監査役)	宮澤 均
常勤監査役	原 周司
監査役 (社外監査役)	大倉 喜彦
監査役 (社外監査役)	志賀 こそ江

株主優待のご案内

当社特製カレンダーの送付について

このたび、1,000株以上保有の皆さまに対しまして、日頃のご厚情への感謝のしるしとして、『特製カレンダー』をお贈りさせていただきます。

このカレンダーは、南アルプスに広がる社有林を、山岳写真家として世界的に有名な、白旗史朗氏が撮影した写真を用いております。また、カレンダーのすべての用紙は、グループ会社の製品を使用しております。1年間を通じてご愛用いただければ幸いです。

なお、カレンダーは、12月中旬にお届けする予定でございます。



グループ企業

東海パルプ株式会社

株式会社テック東海
東海物流システム株式会社
株式会社リソース東海
大一コンテナ株式会社
東海加工紙株式会社
明治製紙株式会社
株式会社東海フォレスト
株式会社レックス

特種製紙株式会社

特種メーテル株式会社
特種ロジスティクス株式会社
特種紙商事株式会社

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〔株式に関する お問合せ・ お手続き先〕	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
	TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00~17:00)
	TEL 0120-244-479 (通話料無料、24時間自動音声応答)
	http://www.tr.mufg.jp/daikou/ (ご注意) 株券電子化実施後は、上記のお手続き先は、特別口座(※)に記録された株式のお手続きのみとなります。証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 (ご注意) 野村證券株式会社全国本支店における取次事務は、株券電子化の実施をもって終了いたします。
公告方法	弊社ホームページ上に掲載 http://www.tt-paper.co.jp/ir/denshi.html ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

※特別口座のご案内

電子公告にてご案内しておりますが、証券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されることとなります(2009年1月26日記録予定)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、2009年2月中旬ごろに、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

会社HP

ホームページご案内

<http://www.tt-paper.co.jp>



特種東海ホールディングス株式会社
TOKUSHU TOKAI HOLDINGS CO., LTD.

www.tt-paper.co.jp

表紙：三伏峠から厳冬の塩見岳
撮影：白旗史朗
用紙：ミセスB ホワイト